

千原桜 (チハラザクラ)

ソメイヨシノと同時期に咲く



樹形



開花状況



花



萼筒



萼片



苞



葉全体



葉の鋸歯

樹形は広卵形の高木である。花は大輪の白色で咲き進むとうすいピンク色となる。花弁は一重咲きと半八重咲きが混在する。萼筒はつりがね形で、萼片は細い三角形で先が尖り縁には鋸歯が見られる。苞はくさび形で先端の鋸歯が目立つ。葉は両面無毛で裏面は白色を帯び、葉先に向かって徐々に細くなり尾状となる。葉縁の鋸歯はほとんどが重鋸歯で少し単鋸歯がまじり先が芒状となる。熊本市西区島崎の千原台で発見された桜である。